

# 常陸太田市工業用水道事業の紹介

## ○事業の主旨

常陸太田市は茨城県の北部に属し、水戸市街地及び日立市街地から約20km圏内にある。

本市は、水戸・日立広域都市建設構想の中で日立市とともに工業都市としての開発が構想されているが、城下町としての歴史的背景が強く、工業開発に必要な都市施設の整備に立ち遅れ、むしろ水戸市の影響による商業活動を中心とした市街地が形成されてきた。

その後、工業生産機能等の導入による経済活動の振興と成長を期待し、均衡のとれた産業構造を形成するために、道路網及び常陸太田工業団地の整備などの産業基盤が着々と整備されてきた。

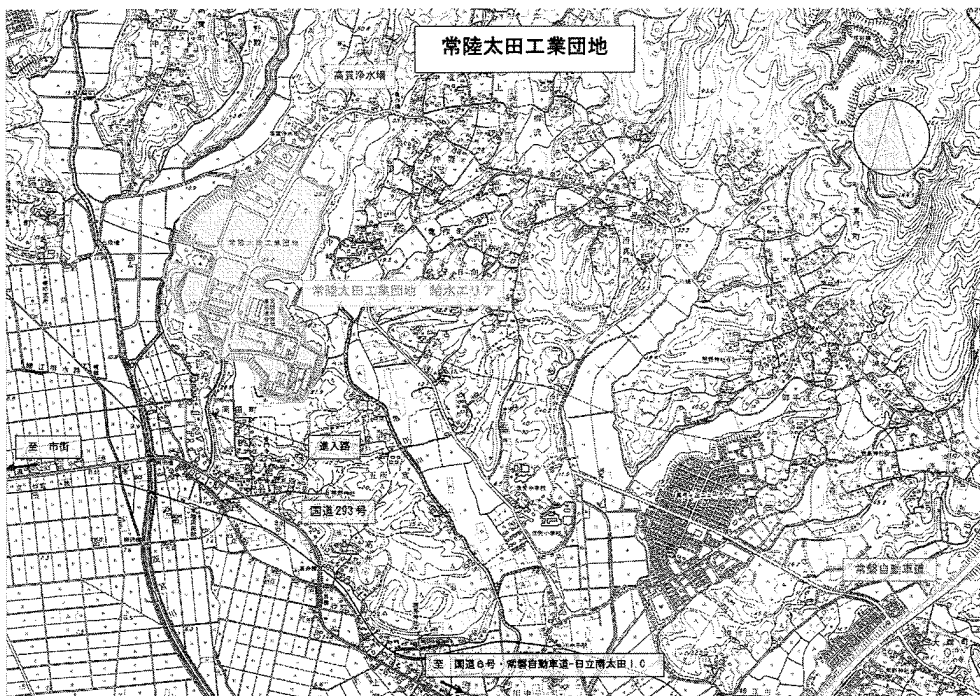
このような状況のなかで、本市の今後の工業開発を推進する上で必要不可欠である工業用水を、工業用水道により安定的に供給するために当該事業を実施する。

## ○事業の経緯

常陸太田市の工業用水道事業は、昭和61年4月に設立許可を受け、水源を竜神ダムに依存し、1日6,000m<sup>3</sup>を供給しようと平成4年1月より給水を開始した。

現在、4企業に対し1日平均1,684m<sup>3</sup>を供給している。

## ○常陸太田市工業用水道給水区域概略図



## ○ユーザーの概要

(平成20年4月1日現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
金属	1	150
食品	2	1,800
その他	1	460
計	4	2,410

## ○工業用水道施設の概要

竜神ダムからの表流水を久慈川左岸に設置した取水施設より自然流下方式にて取水し、導水ポンプにより常陸太田工業団地に隣接する工業用水道浄水場へ導水している。

浄水場へ導水された原水は、凝集・沈殿処理により浄化した後、工業団地へ給水している。

## ○事業の特徴

取水施設については、民間企業が所有する既設取水施設を共用することにより、施設維持管理経費の縮減を図っている。